

取扱説明書



警告

誤って使用しますと、安全を損ない危険です。
注意事項を良く守ってご使用ください。

警告



分解禁止

- 商品を分解したり、修理、改造はしないで下さい。事故やケガの原因となります。



必ず守る

- 施工は専用の商品を使用し、取付面（下地）の強度は強度は必ず確認下さい。施工の確認をお守り下さい。破損の原因となります。
- 取扱い説明書以外に使用した場合は責任を負いかねます。

注意



禁止

- 本部品は住宅の屋内専門商品です。屋外や浴室などに使用しないで下さい。

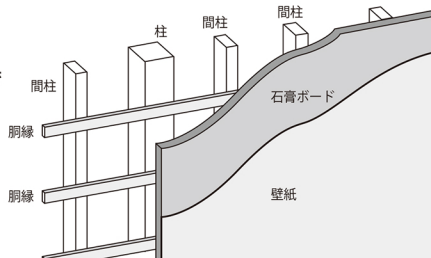


必ず守る

- 取付には指定の部材以外は使用しないで下さい。
- イスにぶらさがったりしないで下さい。
- ネジは定期的なゆるみがないか点検して下さい。
- 土壁・ユニットバス・石貼の壁には取付け出来ません。
- 汚れが目立ちましたら、やわらかい布でカラ拭きして下さい。
- 浅く座らず、深く座るようにして下さい。

取り付け前に必ずご確認ください!!

- 木ネジのきく所（壁に木の下地がある所）を選んで取り付けて下さい。
- 柱の位置は市販の針状の道具などを使って下地のあるところを探してください。



■材質

椅子板：集成材 ブラケット：SPHC（鋼板）

■同梱部品内容

椅子板（ブラケット 2本付）	1組
ブラケット固定ネジ M4×40	6本
M3.5×40	8本
ロングドライバー（30cm）	1本
型紙	1枚
取扱説明書	1枚

■必要な道具



メジャー



電動工具



鉛筆

■あると便利な道具



水平器



下地探し器（ピン式）

or

下地探し器（センサー式）



マスキングテープ

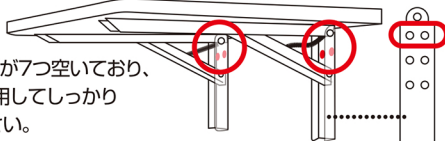
使用上のご注意

- 必ず正しい取り付け方法によって取り付けてください。
- この製品の耐荷重は 100kg です。（但し、静荷重での測定値で保証値では有りません。）
- 木ネジは定期的なゆるみがないか点検（締め直す）してください。
- ぶらさがったり、板の上に乗ったり、衝撃を与える様な使い方はしないでください。
- 椅子用板を持上げの際に、板の壁面側には手をかけないでください。指を詰めて怪我をする恐れがあります。
- ストーブ等の高温になるものの近くや、風呂場など水に濡れたり、湿度の高いところ、また屋外では使用しないでください。
- 品質を保つために、時々やわらかい布等でカラ拭きしてください。（水拭きや洗剤・薬品等は使用しないでください）

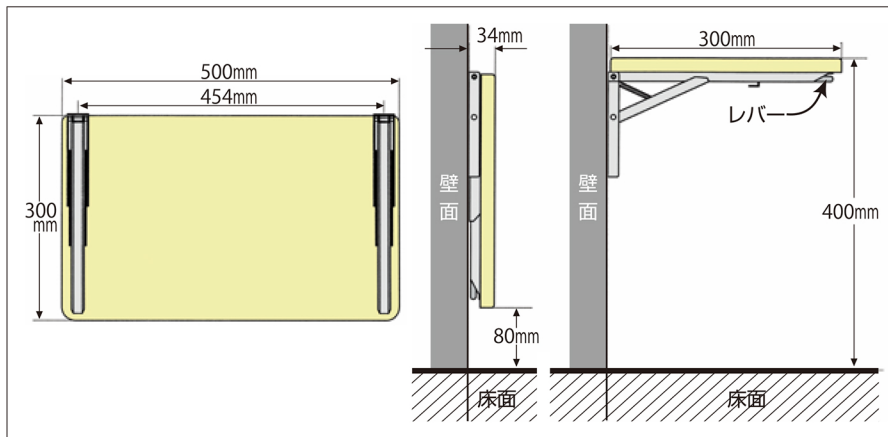
取り付け方

『取り付け前に必ずご確認ください』をよく読んでから図を参照して取り付けてください。

- 電動工具を使って確実に取り付けてください。
- ネジのきく所を選んで、ブラケットの取り付け位置を決めてください。その際に必ず床面と平行になるようにしてください。平行でないと折りたたみ時に最後まで折りたたむ事ができません。
- 取り付け位置（高さ）は床面から80mm程度の位置に（折りたたみ時の）椅子板の先端部分を合わせて決めてください。
- 取り付け位置が決まったら、型紙をはって、下穴を開けてください。
- ネジでブラケットを固定する際、2名で作業することをおすすめします。付属のロングドライバーで下図の赤丸の位置を固定してください。

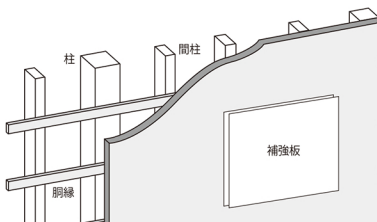


- 各ブラケットに穴が7つ空いており、ネジ（付属）を使用してしっかり取り付けてください。

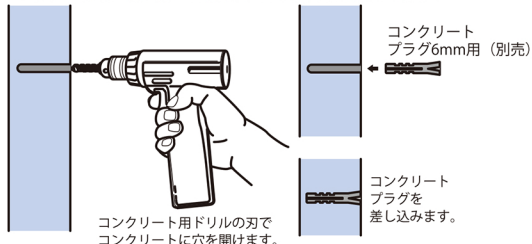


ヒント…こんな場合は…

- 出荷時は椅子板の左右のブラケットは454mm（中心から中心寸法）にて取り付けられています。壁の間柱の間隔が合わない場合や、取り付けたい場所に間柱が無い場合は、補強板をつけるか、椅子板についているブラケットを取り外して間柱の幅に合わせてから再度ブラケットを椅子板に取り付けてご使用ください。再度取り付けされる場合は、椅子板がスムーズに上げ下げできるように、椅子板が壁面より3mm程度すき間があくようにして左右の対象を確認の上、強度をよく確かめて取り付けてください。



コンクリート壁に取り付ける場合はドリルで下穴を開けましょう。



使用方法

- ①持ち上げる際は、椅子板を軽く上方向に持ち上げてください。
- ②折りたたむ際は椅子板を少し上方向に上げて、先端のレバーを押しながら静かにたたんでください。



持ち上げると、自動的にロックされます。

ロック機能

レバーを押すとロックが外れ、折りたためます。